

## &lt;業務内容&gt;

## 1 作業準備

作業前に次の事項を必要に応じ行う。

- (1) プールの構造、材質を確認する
- (2) 校舎とプール間における分岐電源の復旧通電
- (3) 校舎とプール間における給水配管の復旧通水
- (4) 循環水切替えバルブの開放又は閉鎖
- (5) 加圧ポンプの作動
- (6) 備品等の移動

## 2 作業内容

## (1) スキマー

プール内のスキマーを撤去回収し、回収したスキマーは、洗浄しプールサイド清掃終了後取り付ける。

## (2) プールサイド

ア 形状材質に応じた機材を使用し洗剤で洗浄の後、圧流水で流す。

イ 次亜塩素酸ナトリウム水溶液（濃度100ppm程度）を均一散布し、圧流水で流し、残留水を除去して仕上げる（以下「殺菌洗浄」という）。

## (3) プールサイド排水溝

形状材質に応じた機材を使用し殺菌洗浄する。

## (4) プール本体（底面）

ア 次の仕様のプールロボットを使用し必要時間清掃する。（概ね3時間）なお、プールロボットは受託者が用意すること。

## &lt;プールロボット仕様&gt;

形式：潜水式

馬力：550W（3／4 H P）以上

清掃能力：概ね418m<sup>2</sup>／h以上

操舵：センターバー式完全自動

回転数：1,450 R P M以上（50H z）

(7) プールロボットは、プールサイドから投げ込むようなことはせず、プール側面及び底面を痛めないように、静かにプール底面に沈めること。

(1) プールロボットが静止状態になった場合にそなえ、プールロボットを作動させている間、清掃作業員は常駐すること。

(ウ) 清掃後、プールロボットは無理やり引き上げるようなことはせず、プール側面及び底面を傷めないように、静かにプール底面より引き上げること。

イ プールロボットの使用のみでは清掃の完遂に支障がある場合は、他のプールクリーナー等を併用又は代用して清掃を行う。

## (5) プール水面

ア 水面の浮遊物を網等で除去する。

イ 浮遊物の種類、量によっては、必要に応じプール水をオーバーフローより溢流させ部分換水の措置を行う。

## (6) 洗体設備

ア 形状材質に応じた機材を使用し殺菌洗浄する。

イ 腰洗槽及びフートバスは、残留水を除去して仕上げる。

## (7) オーバーフロー

ア 清掃可能な箇所について形状材質に応じた機材を使用し殺菌洗浄する。

イ デッキレベル型オーバーフローは、汚れがある部分は可能であればグレーチングを取り外して殺菌洗浄する。

### 別紙3 口ボット清掃

- (ア) グレーチングを止めてあるビス等を取り外し、設置場所がわかるよう分類して保管する。
- (イ) グレーチングを取り外し、その裏面に番号を書きこむ。
- (ウ) 形状材質に応じた機材を使用し殺菌洗浄する。
- (エ) グレーチング裏面の番号どおり取り付ける。
- (オ) 設置場所がわかるよう分類保管してあったビス等を基の位置に取り付ける。

### 3 プール水質

プール水質において必要がある場合は、以下の補正改善措置を行う。

- (1) 残留塩素濃度を測定し、改善処置が必要な場合はその旨を学校へ報告する。
- (2) 水素イオン濃度を測定し、その結果からPH調整に必要な措置を行う。
- (3) その他水質管理において必要な措置を行う。

### 4 循環ろ過装置

循環ろ過装置において必要がある場合は、ろ材の逆洗洗浄及びヘーキャッチャー、ストレーナーの洗浄を行う。

なお、設備補修等の必要があると判断した場合は、直ちに校長へ連絡すること。